



ボランティア情報

2012年5月発行 社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会

ボランティア活動をしたい方、
ぜひ一度ご相談ください!

現在募集中のボランティア活動

こども 幼児の保育

療育センターに通所している子どもたちの兄弟児の託児保育

【日 時】月～金曜日 9:40～14:00の間で応相談

【場 所】戸塚地域療育センター内（川上町4-4） 【その他】交通費片道分支給。女性希望

障がい 知的障がい児のスポーツ支援

知的障がい児とボールをつかったスポーツを楽しむ

【日 時】毎週金曜日 18:30～20:30のうち、都合のよい日

【場 所】本郷特別支援学校体育館（栄区小菅ヶ谷） 【その他】駐車場有。

高齢 高齢の方の話し相手、趣味活動

高齢の方の通う施設での話し相手、麻雀、囲碁、将棋などを一緒に楽しむ

【日 時】月～土曜日 13:00～15:00の間で応相談

【場 所】デイハウスしおり（平戸3-22-34） 【その他】交通費支給（1回につき上限500円）

★活動までの流れ★

①とつかボランティアセンターへ相談

②ボランティア活動登録

ボランティア活動先を紹介する場合や、継続してご希望の活動を探す場合は、
ボランティア活動登録をしていただきます。

その際、ボランティア活動をするにあたって気をつけることや、ボランティア
活動時の保険についてのお話をいたします。

③活動先見学

④活動開始

とつかボランティアセンターのご案内

●ボランティア相談窓口（戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階）

月曜～土曜日 午前9時～午後9時

（※12月29日～1月3日は休館）

TEL：(866) 8483 FAX：(862) 5890

E-mail：volunteer@totsukashakyo.com



2012年5月号(第54号)

発行／企画／取材『社協とつか編集会議』

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
TEL：045-866-8434
FAX：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com

子育てのお手伝いをしてみませんか ～横浜子育てサポートシステムのご案内～

横浜子育てサポートシステムは、「子どもを預かってほしい人」と「子どもを預かることができる人」に会員登録をしていただき、条件の合う近隣の方との出会いをサポートするものです。地域の中で、子どもを預けたり預かったりすることで、人のつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援をめざします。

お子さんを預かる提供会員を募集しています！

会員になるには？

まず入会説明会に参加して子育てサポートシステムのしくみを知っていただきます。

フレンズ戸塚

6/5(火)・7/13(金)・9/13(木)

戸塚区での入会説明会日程

各回 10:30～11:30

とつの芽

5/17(木)・8/7(火)

◇提供会員：お子さんを預かる方

子育て支援に熱意と理解があり、安全に子どもを預かることのできる満20歳以上の健全な方

※提供会員希望の方は、入会説明会後、研修を受講していただきます。（年20回開催予定）

戸塚区での提供会員予定者研修会

6/12(火)・13(水)・14(木) 13:30～16:45

◇利用会員：お子さんを預けたい方

生後57日以上～小学校6年生までのお子さんがいる方（1時間800～900円の利用料がかかります）。

利用会員と提供会員をつなぐコーディネーター

地区リーダーより



子育てサポートシステムがスタートして12年の月日が流れました。
地域の方々の手で子育てを支援していくこうという趣旨の中で、笑顔と笑顔のサポートの輪が広がるお手伝いを楽しくさせていただいている。



可愛いお子さんがすくすく育つような環境づくりを、少しでもお手伝いできればとの思いであります。提供会員さん、両方会員さんのご協力に日々感謝申し上げます。

「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。

戸塚区内の子育て支援

戸塚区には子育てを応援するいろいろな団体・活動があります。
その一部をご紹介します。

戸塚区地域子育て支援拠点

『とっとの芽』

おもちゃもいっぱいあり、スタッフが温かく向かえてくれるので、入りやすいとの評判の『とっとの芽』。毎日お弁当持参で一日遊んで行くなど、年間36,000人、一日当たり平均80組の親子の利用があり、混んでいるときには少しお待ちいただくこともあるとのこと。

親同士の情報交換やスタッフへの相談などができるので、子育てに自信が持てるようになり、第2子や3子の子育てに希望を抱く若い母親も増えているそうです。



また、『とっとの芽』に来られない親子のために、区内の子育て情報発信としてメルマガの発行にも力を入れているそうです。

子育て支援拠点『とっとの芽』

戸塚区川上町91-1 モレラ東戸塚3F
利用時間：火曜日～土曜日
9:30～15:30
対象：就学前の子と親
運営：特定非営利活動法人
子育てネットワークゆめ

ぴーす東戸塚

発達障害のある4～5歳のお子さんが週1日通い、安心して楽しく学ぶ場として平成23年4月に開所しました。ぴーす東戸塚に通うことで、集団に参加する力・コミュニケーション力をつけるとともに、遊びの幅を広げ、楽しめる機会を作っているそうです。

ご家族の方にとっても安心して相談したり学んだり、ほっとできる「場」ともなっているとのことです。

児童デイサービスとは？

障害者自立支援法第5条に定められる事業で、障がいのあるお子さんが「日常生活における基本的な動作

の指導、集団生活への適応訓練その他」について学ぶ場所のことです。



児童デイサービス ぴーす東戸塚

戸塚区川上町88-1
対象：発達障害のある4～5歳の子と親
運営：社会福祉法人
横浜市リハビリテーション事業団

○善意銀行寄託者一覧（平成23年12月1日～平成24年3月31日）

戸塚法人会、山崎すいの、戸塚文化協会、戸塚町4丁目町内老人会「皇寿会」、柏尾富士見台自治会、日立製作所横浜支社、日立INSソフトウェア㈱、日立アドバンストシステムズ、日立アドバンストデジタル、日立コンシーマエレクトロニクス㈱、日立コンシーマ・マーケティング㈱、流通研修所、日立精映テック、日立ICTビジネスサービス、日立情報通信エンジニアリング、日立ソリューションズ、日立システムズ、日立製作所ソフトウェア事業部、日立製作所通信ネットワーク事業部、とつかルーテル保育園、江畠セツ、平成24年戸塚区消防出初式実行委員会（委員長 金子正治）、社会福祉法人横浜来夢会（理事長 山下治）、戸塚区民踊舞連盟（理事長 東光舞）、六国建設株式会社、戸塚中学校第七期生さくら会（代表 赤澤恒男）、横浜東戸塚ライオンズクラブ、ガールスカウト日本連盟神奈川県第92団、匿名（敬称略・順不同）

善意銀行とは？ みなさまから寄せられた善意（寄付金・物品）を区社協で預かり、地域の福祉活動に配分する仕組みです。

○平成23年度区社協賛助会員のみなさん ありがとうございました

明るい社会づくり運動戸塚協議会、株式会社ハマ住センター、高橋志津江、アカンパニー戸塚、上矢部地区社会福祉協議会、佃初美、有賀美代、川上地区連合町内会、鳥居恵美子、安藤はな子、「ぐるーぷ・ちえのわ」、永田政信、入内嶋勇、香山一江、野口稔、池内サチ子、五反田佐千子、樋泉舟水、石井喜久栄、小松崎みづ江、平戸平和台地区連合町内会、井田君江、齋藤徳子、深野喜久子、医療法人社団友泉会 小泉小兒クリニック、坂井学、藤田俊一、岩本知子、佐々木美恵子、藤本和子、梅井秀夫、三枝木英子、村山幸一、遠藤廉治、三枝木林治、湯江裕美子、大山勲夫、仁天堂薬局、横浜農業協同組合、岡ミチ子、杉山順三郎、吉田さわ子、株式会社石半、関口健二、依田美恵子、株式会社ウイズ、芹ヶ丘ボランティア青空、六国建設株式会社、株式会社長野工務店、高橋加代吉（敬称略・順不同）

賛助会員とは？ 区社協事業にご賛同いただき、賛助会費を納めていただいている会員のことです。

上倉田地区

いくじい(育児)講座

～ご存知ですか？イマドキの子育て～

最近はおじいさんが孫の面倒を見る場合が増えていたことを知り、2月7日に上倉田地区ケアプラザで、第1回「いくじい講座」を開催しました。

子どもを預かる人と預ける人を対象に、前半は戸塚区役所の保健師さんに、後半は地域の子育て支援事業に協力してくれている保育士さんにお話をしてもらいました。甘い果汁は飲ませないこと、入浴後にベビーパウダーはつけないこと、外気浴はよいが日光浴は避けることなど、ひと昔前の子育てと最近の孫育ての違いを、比較しながら分かりやすく解説していました。

講座後のアンケートでも「同居している親に聞いてほしかった」「嫁に余計なことを言わずに済みました」など、有意義だったことが窺われました。

第2回は、毎年開催している幼児親子向けの日赤救



急法（日本赤十字社の「幼児安全法講習」）に、対象をいくじい世代のかたたちにも広げる形でおこないたいと考えています。

上倉田地区社会福祉協議会 原野裕子

東戸塚地区

青い空に手作りの凧揚がる「第2回凧揚げ大会」

東戸塚地区連合町内会主催



快晴に恵まれた上品濃公園の大空に色とりどりの手作りの凧が気持ちよく揚がっています。2月11日（土）、東戸塚連合町内

会に住む親子連れ150人余りが集まり、それぞれが工夫して作り上げた凧を揚げて楽しみました。今回は2回目、地域の自治会や企業の協力で計画されています。

小さな女の子が懸命に凧糸を握って揚げる姿はほほえましく、応援している周りの参加者の心を和らげてくれます。

この凧はすべて手作りが条件。親子で協力して作ったものばかり。表彰式では、アイデア賞、よく揚がつ

たで賞などいろいろな賞が贈られました。寒い会場周辺には各自治会の手作りの甘酒、お汁粉、フランクフルト、そして焼きそばなどの模擬店が大繁盛でした。

主催者のみなさん「この地の歴史ある凧あげ大会として未来に続けたい」と熱意を語っています。

東戸塚連合町内会副会長 清水豊司



凧揚げの様子

編集後記

大震災・原発事故から1年。今こそ、ほんとうの「福祉」の意味が問われる時です。人々が「絆」を深め、地域の福祉活動を広げる活動を探求していきます。そんな素晴らしい鉱脈を探し、光をあて、多くの区民に伝える仕事をしています。

編集委員長 天沼松次郎